

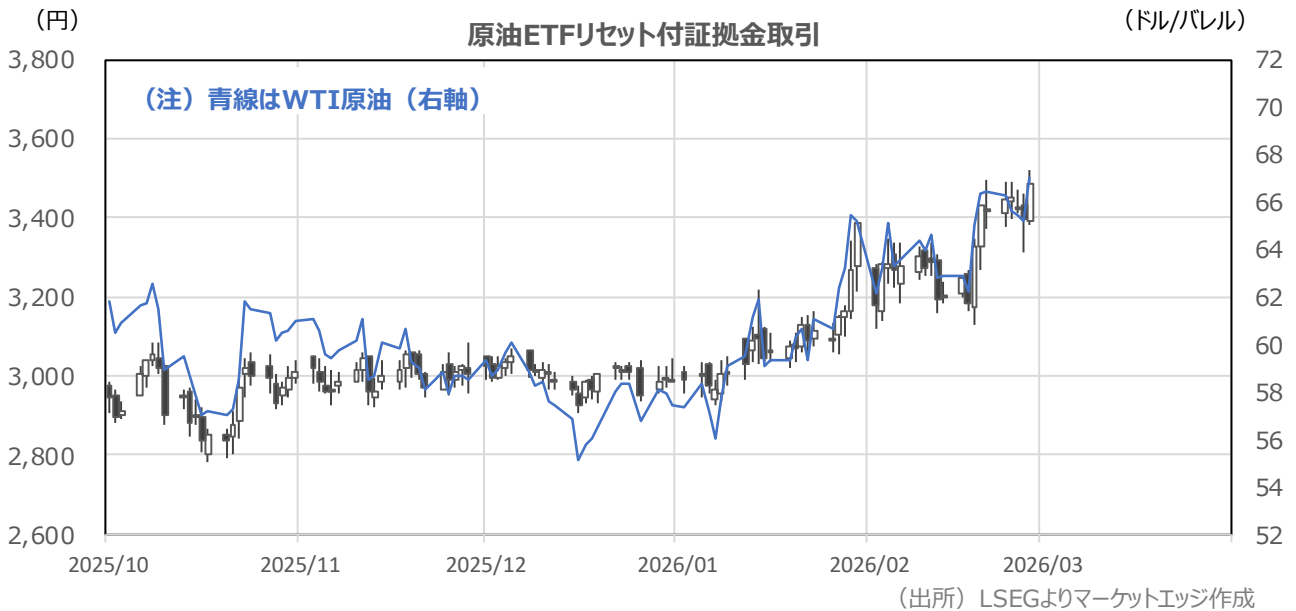
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/03/02号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



半年ぶりの高値、イラン情勢への警戒が続く

NY原油先物相場は、1バレル=67ドル水準まで値上がりした。2月26日に米国とイランの3回目の協議が予定されたが、事前に積極的に売買を仕掛けるような動きは見られなかった。同協議では、合意に達することも決裂することもなく、原油相場は当初目立った反応は見せなかった。しかし、2月27日の取引では改めて米国がイランへの攻撃に踏み切るリスクを織り込む動きが活発化し、2025年8月1日以来の高値を更新した。

米国とイランの協議内容については明らかにされていないが、仲介役のオマーンの外相は、「大きな進展」があったと報告している。ただし、米国とイランの主張の間には依然として大きな隔たりがあるとみられ、合意形成に向けて楽観ムードが広がることはなかった。トランプ米大統領は2月19日、交渉期間を10～15日と区切っていることもあり、いつ米軍のイランへの攻撃が始まってもし不思議ではないとの緊張感が高まった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（2月20日時点）は、原油が前週1,599万バレル増、ガソリンが101万バレル減、石油精製品が25万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

米国とイスラエルがイラン攻撃、買い材料出尽くしのタイミング

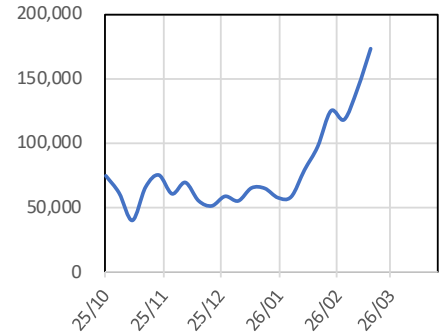
イラン情勢のリスク評価に強く依存する展開になる。2月28日に米国とイスラエルはイランに対する攻撃に踏み切り、イランの最高指導者ハネメイ師が殺害されたと報じられている。イランはイスラエルに加えて、周辺国の米軍基地などに対しても報復攻撃を行っている。また、ホルムズ海峡経由の原油・天然ガスの輸送もほぼ停止した。先行き不透明感が極めて強く、週前半は急伸地合となるリスクを抱えている。

今後の展開は、イラン情勢次第になる。米政府は数日間の攻撃を想定している模様だが、イラン側の大規模な反撃が続けば、戦線は拡大する。2025年6月はイランとイスラエルの間に限定された攻撃の応酬だったが、今回はイラン最高指導者が殺害されたことに加えて、周辺国でもイランからのミサイル攻撃が報告されており、緊張感が高まっている。特にホルムズ海峡の原油輸送が止まった状態が続くと、原油相場は大きく噴き上げるリスクを抱えている。

一方、米国のイランに対する攻撃は相当程度、織り込みが進んでいたため、早期に材料出尽くしの評価が優勢になると、利食い売り優勢の展開になる可能性もある。2025年6月はイスラエルに続いて米国も攻撃に踏み切ったタイミングで、原油相場はピークアウトした。米国も原油相場の高騰は望んでおらず、株価急落といった動きがみられた場合にも、早期に緊張緩和を目指すいわゆる「TACOトレード」になる可能性がある。

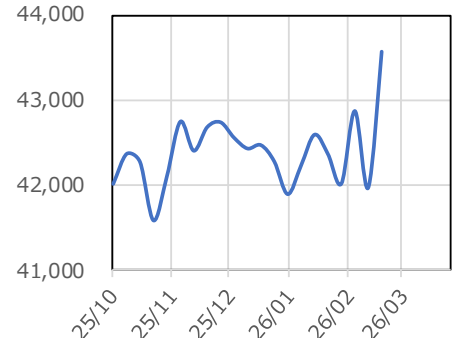
イラン情勢次第で70ドル台中盤を試す可能性がある一方で、どのタイミングで材料出尽くしとの評価が広がるのかを探る局面になる。戦闘状態が早期に終息に向かえば、60ドル水準まで急反落するリスクも抱えている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



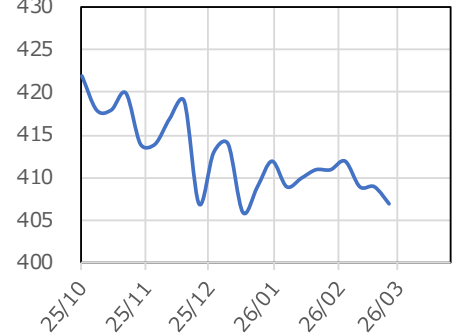
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

